

Moseushi

広報もせうし

10

2026
vol.791

9月14日、妹背牛小学校の児童が稲刈り体験
笑顔も実りもいっぱい！



目次

2-3P 一日防災学校

5-7P フォトコーナー

10P 企画紙面

12P 妹背牛保育所運動会

4P 敬老会

8-9P 情報ひろば

11P information



新聞紙で作る、もしもの時のスリッパ

一日防災学校

もしもの時、

自分で動ける力を――

8.31

子どもたちに災害時の知識と行動を身につけてもらう「一日防災学校」が8月31日、妹背牛小学校と妹背牛町役場で開かれました。同小の児童が地震を想定した避難訓練に参加した後、防災スリッパ作りを体験。役場裏の災害時備蓄庫の見学や非常食の調理・試食などを通じて、児童は災害から自分の身を守る行動と、避難生活に必要な備えについて学びました。

01 地震が起きたら



校内放送に合わせて、
自らの頭を守り、卓球台の下に身を隠す児童

午前10時15分ごろ、地震発生を知らせる校内放送が流れると、児童は頭を守り、先生の指示に従ってグラウンドへ避難しました。

校長先生と消防職員は、素早く行動できたことを評価した上で、避難時には窓ガラスの飛散、頭上の電灯やスピーカーなどにも気をつけるよう説明。目の前の危険を見つけ、安全な避難経路を自分で考えて行動する大切さを伝えました。

防災のポイント

「自分の身は、自分で守る」

危険を見つけ、安全な道を自分で考える

02 「作る」・「遊ぶ」で身につける防災



かるたで遊びながら、防災の知識を学ぶ児童



防災スリッパをはいて歩く体験

災害時には、足元にガラスの破片などが散らばることがあります。児童は新聞紙を折って防災スリッパを作り、実際にはいて足を守る役目を確かめました。

防災かるたでは、1時間に50ミリの大雨はマンホールから水が吹き出したり、崖崩れの危険があることなどを確認。遊びながら災害への知識を深めました。

03 備蓄庫で町の備えを学ぶ



備蓄品の説明を聞く児童



テントの中で段ボールベッドに座る体験

役場裏の災害時備蓄庫では、総務課の職員から、町が備蓄している水や食料、発電機、感染症対策品、簡易トイレなどの品目と数量を教してもらいました。また、児童はテントの中に入り、段ボールベッドの強度を確かめ、避難所での生活を具体的に考えました。

04 非常食を作って食べる



非常食を分け合って味わう児童

保健センターに移動した児童は、非常食の作り方を教わり、カレーうどんやパンなどの非常食を調理、試食しました。アレルギーを持つ人に配慮した原材料や、電気が使えない時もお湯で手軽に食事を用意できることを学びました。

防災のポイント

家族と一緒に、
自宅の食料と水の期限を確かめてみよう



笑顔で祝う、長寿の一日。

9.1 敬老会

伸びやかな歌声を披露する山本裕美子さん



万歳三唱で健康を願う参加者



元気いっぱいに遊戯を披露した園児たち

長年にわたり、地域の発展を支えた皆様にその敬意と感謝の気持ちを表す「敬老会」が9月1日、町総合体育館で開かれました。

今年は、町内に住む75歳以上の812人を敬老会に招待し、264人が式典に出席。このうち、昭和3年（1928年）に生まれた白寿の方は8人、昭和14年（1939年）に生まれた米寿の方は26人が該当しました。

式典では、主催者の滝本昇司町長をはじめ、町議会の廣田毅議長、社会福祉協議会の中易猛会長がそれぞれお祝いの言葉を述べました。

アトラクションでは、認定こども園妹背牛保育所の園児による遊戯に続き、民謡歌手の山本裕美子さんがステージに登場。各テーブルを回って自慢のものを披露し、会場を盛り上げました。



元気な笑顔を見せる村中キヨさん（右）と長男・隆志さん



自宅で100歳のお祝いを受ける山崎テルさん

今年度で100歳を迎える長寿者を祝う記念行事が9月に行われました。妹背牛町内の対象者は、大正15年～昭和2年生まれの4人。滝本昇司町長が自宅や施設に訪問し、該当者に内閣総理大臣名義の祝状と記念品を届けました。

100歳おめでとう!!

繊維リサイクル推進 コープと協定



左から滝本町長、マスコットキャラクターのトドック、大前本部長

妹背牛町と生活協同組合コープさっぽろは9月16日、「繊維リサイクル推進に関する協定」を締結し、滝本昇司町長と同組合店舗本部旭川地区の大前嘉騰本部長が協定書を取り交わしました。

協定では、家庭で不要になった古着を回収し、再利用につなげることで、ごみの減量と資源循環を進めます。

町内では、町役場とフレッシュマートしんたにの2カ所に回収ボックスを設置。不要の衣類の提供を呼びかけています。

移住者の声をまちづくりへ



意見交換会で自己紹介する移住者

妹背牛町と町議会は9月17日、町民会館で「移住者のための意見交換会」を初めて開き、概ね10年以内に妹背牛に移住した12人が移住のきっかけや町への要望を語りました。

参加者たちは自己紹介の後、移住して良かったことや想像と違ったこと、これからの町に期待することなどを発表。実際の暮らしを振り返りながら、妹背牛町の魅力や課題について意見を交わし、移住者ならではの視点をまちづくりに生かす機会となりました。

土の中から、大地の恵みを発見！



変わった形のジャガイモを見つけ、笑顔を見せる児童

妹背牛小学校の1、2年生が8月24日、町内のふれあい農園を訪れ、ジャガイモ掘りを体験しました。

児童は、この春に自分たちで植えたジャガイモを収穫。農業技術指導員の佐藤悟さんらに教えてもらい、大きさや形を見比べながら、ジャガイモを袋いっぱいに入れました。

この日は、自分たちの身長よりも高く育ったトウモロコシの収穫も体験し、友だちと一緒に農作業を楽しみました。

楽しさ全開！個性輝く学校祭



妹背牛町にちなんだクイズで会場を盛り上げる生徒

妹背牛中学校の第79回学校祭が9月5日、同校体育館で開かれ、本番に向けて準備を進めてきた生徒たちが、日ごろの活動の成果を発表しました。

今年のテーマは「楽しすぎて滅！〜うるさかったらごめん祭〜」。吹奏楽部の演奏を皮切りに、各学年の総合発表や合唱、有志発表などが行われました。

1年生は、見学旅行で学んだことや思い出を楽しく発表。ユニークなクイズも交えた内容で、会場を盛り上げました。

農業振興に尽力 退任委員に感謝状



滝本町長から感謝状を受け取る山崎さん（写真左）と佐藤さん（同右）

長年にわたり、農業委員として町の農業振興に尽力された山崎雅浩さんと佐藤光正さんに対する感謝状の贈呈式が8月31日、町役場で行われました。

山崎さんは平成29年から3期9年間、佐藤さんは令和2年から2期6年間にわたり、農地の利用調整や後継者・担い手の育成などに貢献。贈呈式で、滝本昇司町長が2人に感謝状を手渡した後、退任者を代表して山崎さんが在任中の出来事や事務局への感謝の言葉を述べました。

「お世話になった町のために」



滝本町長（左）に寄付金の目録を手渡す久美子さん

北いぶき農業協同組合長や妹背牛町議会議長などを務めた故・渡会寿男さんの妻、久美さんが8月、妹背牛町へ100万円を寄付しました。

この日、町役場を訪れた久美子さんは「長年にわたり、町や地域の皆さんにお世話になりました。町のために役立てて下さい」と寄付。滝本昇司町長に目録を手渡した後、感謝状が贈られました。

寄せられた厚意は、今後のまちづくりに活用されます。

中学生が全道大会の結果を報告！



廣澤教育長に全道大会の結果を報告する選手たち

妹背牛中学校の野球部と特設陸上部の選手5人が8月28日、町総合体育館を訪れ、7月の全道大会の結果を廣澤勉教育長に報告しました。

特設陸上部の岡部慈莉さん（3年）は、大会前に足を痛めたものの、女子走り幅跳びで5メートル30センチを記録し、全道3位。野球部は2回戦で、全道優勝した十勝代表のチームに惜敗しました。

廣澤教育長は「今後も目標に向かって頑張ってください」と激励しました。

狙いを定めて、ナイスショット！



カップに狙いを定めてクラブを振る参加者

妹背牛町スポーツ協会の会員交流会が8月30日、遊水公園うららで開かれました。各スポーツ団体から33人が参加し、パークゴルフを通じて交流を深めました。

会員同士の親睦を目的に毎年開催。参加者たちは声を掛け合いながらカップを目指して思いっきりクラブを振り、団体の垣根を越えてプレーを楽しみました。

競技後の懇親会では、60人が焼肉に舌鼓を打ちました。

新米の出来栄に期待 町長が視察



新米の出来栄を確認する滝本町長
(右)と中易代表理事

滝本昇司町長や北いぶき農協の中易徹代表理事等が9月14日、新米の出荷が始まったカントリーエレベーターを視察しました。

同農協妹背牛支所の担当職員が食味の指標となるタンパク値が低い傾向にあることや、昨年と比べて病害虫の被害が少ないことなどを説明。新米を手になじませ、農家の皆さんの努力のたまもの。全国の消費者に味わってもらいたい」と期待を寄せました。

町の未来を語り合う「議員カフェ」



議会のあり方について、参加者が意見を交わした議員カフェ

妹背牛町議会は8月29日、町民会館で「議員カフェ」を開き、町民15人が今後の議会のあり方について意見を交わしました。

今回で3回目。第1部では「議員のなり手不足と議会のあり方」をテーマに、議員活動の周知や、町民と議員が対話する機会を増やすことの重要性について話し合いました。

第2部のフリートークでは、参加者が日常生活で感じている疑問や要望などを自由に語り合いました。

環境美化活動 初田さんに感謝状



作業風景



感謝状贈呈

妹背牛商工会は9月9日、駅前や商店街の草取りボランティアを続ける初田勇さんに感謝状を贈りました。

地域の景観を整え、町外から訪れる人を気持ちよく迎えようと、初田さんは3年前から草取りを開始。春から秋にかけて、晴れた日に自転車移動しながら、草取りを続けてきた地道な活動がたたえられました。

木山卓己会長から感謝状を受け取った初田さんは「今後も続けていきたい」と話しています。

レコードの音色に思い出重ね



ずらりと並んだレコードから、聴きたい一枚を選ぶ参加者

妹背牛町社会福祉協議会は8月26日、町郷土館で「レコードと駄弁りと夜と」を開き、参加者たちはレコードから流れる懐かしい音楽に耳を傾けました。

今年3月に続いて2回目の開催。今回は仕事帰りの人も参加しやすいよう、夕方に開催しました。

温かなメロディに包まれる中、参加者たちは当時の出来事や暮らしを振り返ったり、聴いてみたいレコードを選んだりしながら、楽しい時間を過ごしました。

油漏れに注意しましょう！

寒い季節は暖房器具を使用する機会が増えてきます。暖房器具は生活に欠かせないものですが、普段の点検を怠ると大きな事故につながります。

特に灯油タンクは、普段の点検や計画的な配管の交換を怠ると油の流出事故が発生しやすくなります。

油の流出は、火災の原因になるだけでなく、水路、河川、地下水、土壤などの環境汚染にもつながってしまいます。しっかり点検を行い流出事故の未然防止に努めましょう。

油流出事故防止のポイント

1. 日常点検 タンクや配管に腐食や亀裂がないか、量が急激に減っていないかなど、定期的に点検を行いましょう。

深川消防署妹背牛支署 TEL32-2026

2. 取り扱い上の注意 給油中は絶対にその場を離れたり、目を離さないようにしましょう。また、受け皿を使用し油の流出を防ぎましょう。

3. 事故発生時の対処 油が漏れてしまった場合は、すぐに布や新聞紙などで回収し、消防へ連絡しましょう。また、水で流す行為は油の汚染を広げてしまうのでやめましょう。

もし… 河川などに流出させてしまった場合や油が流れているのを発見した場合は、速やかに妹背牛消防へご連絡ください。

ごみを燃やさないで！

町内や近隣市町村では、毎年、ごみの不法焼却や不法投棄が数件発生しています。

これらは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に違反する行為で、検挙された場合は罰金をはじめとする重い刑罰が科されます。

1 ごみ焼きは犯罪です

「昔からやっているから」「ごみステーションが遠いから」といった理由は通用しません。ごみを燃やすことは、絶対にやめてください。

ごみの不法焼却により、数十万円から 100 万円単位の

妹背牛駐在所 TEL 32-2052

罰金が科される場合があります。また、ごみ焼きの火が周囲の建物や山林に燃え広がり、大きな火災につながる危険もあります。

2 ごみは適正に処分しましょう

ごみは、決められた収集日にごみステーションへ出すか、廃棄物処理施設へ持ち込むなど、ルールを守って適正に処分しましょう。資源として再利用できるものは、正しく分別してリサイクルに出してください。

一人ひとりがルールを守り、不法焼却や不法投棄のない清潔なまちをつくりましょう。

遺言や大切な契約は公正証書で

10月1日から7日は公正週間です。公正役場では、遺言や大切な契約の公正証書作成、会社設立時の定款認証な

どを行っています。公正証書は、紛争の予防や権利関係の明確化に役立ちます。

問い合わせ先 旭川公証人合同役場（TEL0166-23-0098）

10月は不正軽油防止強化月間です！

●道は10月を「不正軽油防止強化月間」と定め、道内各地でトラック等の燃料抜取調査を実施します。

不正軽油は犯罪です！

●混和軽油（軽油＋灯油や重油）や製造軽油（軽油以外の油から製造）など、不正軽油に関する情報をお寄せください。

「不正軽油」を 【使わない】・【買わない】
【作らない】・【売らない】

●不正軽油は、脱税や環境汚染のほか、石油販売、建設、運輸等の業者間での市場競争の不公平化にもつながっています。

◆道は不正軽油ストップ110番を開設しています。

◆不正軽油と思われる情報があるときは、直ちにお電話ください。（フリーダイヤル）0800-8002-110

【問い合わせ先】

空知総合振興局深川道税事務所課税係
TEL0164-23-3578

国民年金よりお知らせ

給付金専用ダイヤル TEL0570-05-4092

◎年金生活者支援給付金について

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

給付金は3種類あり、以下の支給要件を満たしている方が対象者です。また、前年分の所得額が低下したこと等により、新たに受け取る事ができる方へは、請求書を毎年9月頃に順次送付しています。なお、現在受け取られている方のお手続きは不要です。

②障害年金生活者支援給付金

【支給要件】

- ・障害基礎年金を受給していること
- ・前年の所得額が、4,794,000円＋扶養親族の数×38万円以下であること

【給付額】

- ◎障害等級2級の方（月額）5,620円
- ◎障害等級1級の方（月額）7,025円

①老齢年金生活者支援給付金

【支給要件】

- ・65歳以上で老齢基礎年金を受給していること
- ・同一世帯の全員が市町村民税非課税であること
- ・前年の公的年金等の収入とその他の所得（給与所得や利子所得）の合計額が、809,000円以下であること

【給付額】

月額5,620円を基準に、保険料納付済期間等に応じて算出され、次の①と②の合計額となります。

- ①保険料納付済期間に基づく額（月額）＝5,620円×保険料納付済期間/480月
- ②保険料免除期間に基づく額（月額）＝11,768円×保険料免除期間/480月

③遺族年金生活者支援給付金

【支給要件】

- ・遺族基礎年金を受給していること
- ・前年の所得額が、4,794,000円＋扶養親族の数×38万円以下であること

【給付額】

（月額）5,620円

北海道・三陸沖後発地震注意情報を知っていますか

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、想定領域や周辺でマグニチュード7以上の地震が発生し、さらに大きな地震の可能性が普段より高まった場合に発表されます。

1週間以内に大きな地震が起きる可能性は、普段の約10倍とされています。発表された際は、家具の固定状況や避難場所・経路、非常食などの備蓄品を再確認してください。

津波に備え、逃げやすい服装で就寝し、非常持出品をすぐ持ち出せるよう準備しましょう。

問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課

(TEL011-611-6125)

札幌管区気象台 HP



労使間のトラブルを「あっせん」制度で解決

北海道労働委員会では、解雇や時間外手当の未払い、ハラスメントなど、労働者と使用者間のトラブル解決を支援する「あっせん」制度を行っています。申請は簡単で費用は無料。秘密は厳守されます。

問い合わせ先 同委員会事務局（TEL011-204-5667）

令和8年10月1日から 時間額

北海道の**最低賃金 1,131円**

道内の事業場で働く全ての労働者とその使用者に適用されます。

令和8年度自衛官募集案内

・2等陸・海・空士

資格	日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の男女
受付期間	年間を通じて受付を行っております。

自衛隊旭川地方協力本部 旭川地区隊
TEL0166-55-0100

試験期日	12月13日（日）、14日（月）のいずれか1日
試験会場	陸上自衛隊旭川駐屯地（旭川市春光町）

妹背牛の食卓を支えた「高田とうふ店」74年の歴史に幕



長年豆腐作りを続けてきた工場に立つ、
高田英実さん（右）と妻の美代子さん

妹背牛町民の食卓を長年支えてきた「高田とうふ店」が、店主夫妻の高齢化に加え、部品調達が難しくなった機械・設備の老朽化のため、9月末で74年の歴史に幕を下ろしました。

2代目店主の高田英実さん（74）は、大学卒業後、父親が倒れたことをきっかけに23歳で家業を継ぎました。先代から受け継いだ製法を守り、毎朝4時半ごろから妻の美代子さん（77）と二人三脚で豆腐作りを続けてきました。

機械化が進む中でも手作りにこだわり、火加減や水の量も細かく

調整。20代ころはお客から味について厳しい言葉を受けることもありましたが、その声に学びながら技術を磨きました。

店では木綿や絹ごしのほか、生揚げやがんもなどとも製造。道産の黒千石大豆を使った「黒ちゃんとうふ」は、にがりの配合を何度も見直し、試行錯誤の末に完成させた自慢の一品です。商品は町内の店舗をはじめ、学校給食や保育所、妹背牛温泉ペルなどでも親しまれてきました。

ペルのレストラン「米里」の齋藤良料理長は「がんもや油揚げを使ったそばとうどんはレストランの人気メニュー。リピーターも多かっただけに、閉店は非常に残念」と惜しみます。

町外へ移り住んだ人が、懐かしい味を求めて店を訪れることもありました。高田さんは「町内外の皆さんに買ってもらえることがうれしかった。『おいしい』という言葉が、また作る力になった」と振り返り、長年支えてくれた地域の人たちへ感謝を伝えています。

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

竹島 明弘 さん 実千嘉 さん 夫妻



来春のオープンを目指す店舗の建設予定地で、
笑顔を見せる竹島明弘さん（左）と実千嘉さん

薪窯を備えたキッチンカーで本格的なピザを提供する、地域おこし協力隊の竹島明弘さんと妻の実千嘉さんは、飲食店「ピアンカネーヴェ」の来春のオープンを目指し、準備を進めています。

協力隊への着任から1年が経過。留萌市出身で、移住前は旭川市に住んでいた明弘さんは「最初から印象は変わらず、住み心地がいいです」と、妹背牛の暮らしにもなじんでいます。好きな温泉とサウナが身近にあり、妹背牛温泉ペルへの出店後すぐに温泉を

楽しめることも、町で生活する楽しみの一つです。

この1年で、町内の農家と知り合い、新鮮な野菜を直接仕入れられるつながりが生まれたことも大きな収穫でした。

夏限定メニューとして、ナスやズッキーニ、トマト、バジルなどを使った「夏野菜ピザ」を販売。実千嘉さんの「野菜を煮込んでみたら」というアイデアも取り入れ、地元食材に触れてきた明弘さんは、メニューを考える発想が以前より柔軟になったと感じています。

新店舗は、1区西4町内の住宅街の一角に建設予定。店内では、ピザに加え、野菜の水分とうま味を生かした無水カレーなど、米どころの特色をPRする料理の提供も検討しています。

カフェでの勤務経験がある明弘さんは「町を訪れるきっかけになるようなお店にしたいです」と、地域の人はもちろん、遠方からもお客を呼び込める店づくりを思い描いています。

イベント情報

10/15 ▶ 11/14

妹背牛診療所
TEL 32-2475

休診日

第1・3・5土曜日

日・祝日

午後休診

第2・4水曜日と土曜日

10月22日は就学時健診
午後の診察は14時半～

10月23日はリハビリ休み

イベント内容	日程（祝日除）	時間	場所
ふまねっと運動講座	毎週水曜日	13:30～	わかち愛 もせうしひろば
ほっと茶屋	毎週金曜日	10:00～	
まちかどサロン	10月22日（木）	10:00～	
サーキットトレーニング	毎週木曜日 ※10/22（木）は 10/23（金）に変更	13:30～	保健センター
集団健診 （特定健診、がん検診）	10月17日（土）、 18日（日）	7:00～	
親子栄養教室	10月22日（木）、 11月12日（木）	10:00～	from ☆ Moko
4歳児健診	10月20日（火）、 10月27日（火）	9:30～	妹背牛保育所
5歳児健診	10月20日（火）、 10月27日（火）、 11月10日（火）	9:30～	
乳幼児歯科検診・フッ 素塗布	11月11日（水）	9:30～	

広報紙のデジタル版（カラー）
はこちら



妹背牛町 HP



Facebook



Instagram

まちのデータ

9月1日現在
（ ）内は前月比

人口	2,458人	（－5）
男性	1,158人	（＋1）
女性	1,300人	（－6）
世帯	1,321世帯	（－3）

10月	当番医院	住所・連絡先
4日（日）	北海道中央病院	深川市西町1番7号 TEL22-2135
11日（日）	深川市立病院	深川市6条6番1号 TEL22-1101
12日（月）	深川市立病院	深川市6条6番1号 TEL22-1101
18日（日）	深川市立病院 担当医院 みきた整形外科クリニック	深川市6条6番1号 TEL22-1101
25日（日）	深川市立病院 担当医院 北竜町立診療所	深川市6条6番1号 TEL22-1101

— 妹背牛町社会福祉協議会に寄付 —

・村上 啓子 様（1区）
故夫 村上 竹春 氏 死去に際して

認定こども園 妹背牛保育所

第53回 うんどうかい



よーい、どん！



おっとっと！



ポーズも、ばっちり。



ボールと力くらべ！



わくわく、出発！



上手に入るかな？



それっ、届け！



誰か、いませんか～



いっしょに、せーの！



お父さんも、ラストスパート！